

消防団員インタビュー

山田 恵子 (やまだ けいこ) 旭消防団 本部、分団長



入団のきっかけは？

ある日、近所の農家の方にトマトをもらいました。それがきっかけでよく話そうになり、実はその方が消防団員で、後日、「消防団に入らない？」と誘われ、前から消防団の存在は知っていたので、やってみようかなと思いました。

普段はどのような活動をしていますか？

地域の方に応急手当の普及や初期消火訓練を行ったりするほか、消防団内での訓練・研修が主な活動です。イベントで団員募集活動を行うこともあります。現在は分団長として、本部会議に参加するなど、消防団の運営にも携わるようになりました。

毎月の消防団活動の回数及び活動時間を教えてください

多いときは月10回、20時間以上活動することもあります。少ない月は3～4回程度です。自分のペースで活動しているので、活動を強制するものではありませんし、皆さんご自身の可能な範囲で活動しています。災害出場は年に1～2回程度で、台風等の風水害の際には、被害状況や活動の記録を行いました。

消防団に入団してよかったと思うことは？

はじめは応急手当普及員の資格を取得し、地域での普及活動に役に立ったことがとても嬉しく、やりがいを感じたのを覚えています。その後も、各種救命講習や、応急手当指導員を取得して、自身の知識・技術の向上に努めながら、消防団内で伝承しています。消火訓練や資機材取扱訓練も行っており、活動の幅が増えることはとてもやりがいがあります。

消防団活動において印象深いエピソードを教えてください

入団後は、はじめて経験することばかりでとても刺激を受けました。実際にホースを持って放水をしたときには、こんなに大変なのかと衝撃を受けましたが、一人ではなく仲間がいますし、女性も戦力になります。消防団でしか得ることのできない経験が自身を強くもしてくれますし、地域や団員との繋がりが広がったのもよい思い出です。

今後の目標をお聞かせください

団員が活動に参加しやすい消防団づくりを目指して、自分のことをやっていきたいです。訓練の日時・場所の設定、訓練内容も団員の意見を聞きながら、柔軟に対応できるようにしたいと思っています。団員の強化がされることで、災害時に強い消防団、地域から信頼される消防団になっていくと信じています。

消防団には あなたのチカラが必要です

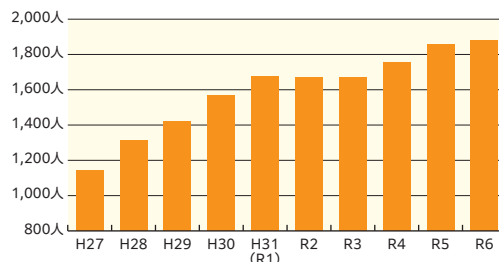
こんな行事や
取組もあります



消防団では、女性消防団員への期待が高まっています。神奈川県内の女性消防団員は、年々増加し、1,800人を超えました。

※令和6年4月1日現在

神奈川県内の
女性消防団員数



女性消防団員の活躍の幅を広げるために

神奈川県では、増加している女性消防団員の皆さんに、平時の予防広報活動だけでなく、大規模災害時の救出救助などの現場活動でも活躍いただくため、女性消防団員を対象とした特別教育を実施しています。



全国女性操法大会

2年に1度、全国の女性消防団員が、操法の技術を競う大会が開催されています。

消防団への入団の流れ

お近くの消防団を探す

本紙のお問合せ先一覧またはホームページよりご確認ください

入りたい消防団へ問い合わせる

電話・メールなどでお問い合わせください

あなたも消防団員に！

案内に従い、入団手続きが完了すれば晴れて「入団」となります

消防団について詳しくはこちらをご覧ください

神奈川県消防団員募集ホームページ



総務省消防庁ホームページ



【発行】神奈川県くらし安全防災局防災部消防保安課企画グループ

〒231-8588 神奈川県横浜市中区日本大通1 TEL 045-210-3444(直通)

2025.3発行



神奈川県

あなたのチカラが
街を守る！

女性消防団員募集



消防団は
あなたのチカラを
求めています！



神奈川県消防団員募集キャラクター 火けし太郎